

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.44	02	市民の広場	10
今号の表紙	03	私と海老名 その8	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
食と健康		相談	13
地域で活動しませんか	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 場時間 場場所 対対象 定定員
 内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
 条条件 主主催 Eメール ホームページ 問問い合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝日を除く 休休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市制施行50周年記念事業

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

「び」のかたちがむずかしかったです。
 今泉小学校 浦本絵名さん(11歳)



写真

タイトル：古きをみ、新しきを考える
 撮影場所：上郷水管橋
 撮影者：柏ヶ谷在住
 阿久津佳弘さん



編集雑記

9月の海老名の風物詩となったかかしまつり。初めて見に行ったときは、細やかな表情や躍動感のある姿にかかしの概念が変わりました。スポーツや大河ドラマ、アニメなどその年にはやったかかしを見て「なるほど!」と思えるのも魅力ですね。ことしは開催できるといいなと楽しみにしています。(健)

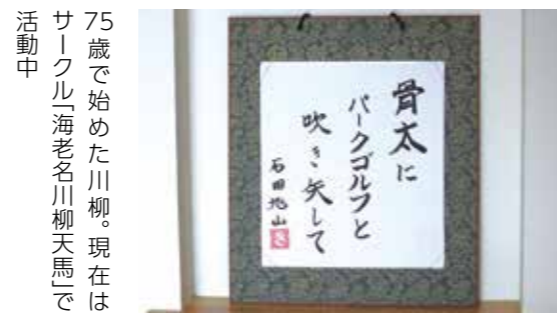


自分探しで続ける挑戦

車いす修理のボランティアに川柳、パークゴルフなど、地域の仲間との交流を広げる石田さん。現役時代は仕事一筋だったと話します。「退職後は自分探しの道を歩みたいと。気付いたら多くのチャレンジをしていました」。65歳で完全リタイアした翌日には県立相模三川公園へサイクリング。そこでターゲットバードゴルフと出会いました。

10年間続けている「スポーツ吹矢」も始まりは自分探しから。「大病を患ったときは吹き矢の呼吸がリハビリにも役立つと。病み上がりで5段に昇段できたときはうれしかったです」。体に負担が少ないことから始めたパークゴルフは、夫婦で一緒にできる初めての趣味。「歩くのが不自由だった妻も奇跡的にできるようになりました」と顔をほころばせます。

「人生は、山登りみたいなもの。最後まで一歩一歩登っていききたい。困難なときも前向きに乗り越えてきた石田さんは、これからも新しい挑戦を続けます。」



75歳で始めた川柳。現在はサークル「海老名川柳天馬」で活動中

地域の仲間と競い合うことも続けられる秘訣

今月のえび人

いしだてつお
 石田哲夫さん
 (上郷在住・77歳)

日本スポーツウエルネス吹矢協会海老名支部所属。45年前に海老名市に転入。日曜大工は長年の趣味。DIYアドバイザーの資格取得も。座右の銘は「継続は力なり」。